

報告書

大工研報第 772 号

依頼者	所在地 または住所	大阪市中央区平野町1-6-8-204	
	企業名 または氏名	有限会社 フィトン・タオ壱壱八	様
依頼事項	植物由来のエキス、フィトンチッドF118の抗菌性に関する		
	研究		
試料	F118		

平成 9 年 6 月 30 日付第 2-127号で依頼のあった件について
試験・分析・研究・測定・鑑定した結果次のとおり報告します。

結果

試料名	試料の希釈倍数	試験菌株	生菌数(個/ml)*
500倍希釈F118_AB	10	MRSA(A3)菌	検出されず
500倍希釈F118_AB	130	MRSA(A3)菌	4.0×10 ⁴
500倍希釈F118_AB	100	MRSA(A3)菌	3.3×10 ⁶
対照		MRSA(A3)菌	3.7×10 ⁶
500倍希釈F118_AB	1	大腸菌 SEROTYPE O157:H7	検出されず
500倍希釈F118_AB	3	大腸菌 SEROTYPE O157:H7	検出されず
500倍希釈F118_AB	10	大腸菌 SEROTYPE O157:H7	検出されず
500倍希釈F118_AB	30	大腸菌 SEROTYPE O157:H7	3.6×10 ³
対照		大腸菌 SEROTYPE O157:H7	3.7×10 ⁶

方法) 普通ブイヨン培地で培養した試験菌株(MRSA(A3)菌; 依頼者より提供された菌株および大腸菌; Escherichia coli SEROTYPE O157:H7、ATCC43888)を生理食塩水を用いて10倍希釈した。その希釈菌液0.03mlを試料(3ml)に接種し、よく攪拌した。室温に静置し、1分後、その0.005mlを4.5mlの生理食塩水に入れ、すぐさまその生理食塩中に生存する生菌数を測定した。なお対照試験には試料の代わりに生理食塩水を用いた。

生菌数の測定は衛生試験法・注解(1990)微生物試験法、(3)生菌数、1)混積平板培養法(p.148)によって行った。

* 希釈菌液を接種した試料中の個数に換算した。

以上

平成 8 年 8 月 5 日

大阪市立工業研究所長

富永嘉男

